



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

GHG排出量算出に関する 滋賀銀行の支援メニュー

2023年9月12日



いっしょにミライへ

SHIGA BANK

Copyright© SHIGA BANK, Ltd. All Right Reserved.

2023年
未来よしサポート
脱炭素経営サポート
リリース

2022年
CN推進チーム
開設

2021年
ESGファイナンス
チーム開設

2019年
グリーンボンド
1号案件を実行

2017年
しがぎん
SDGs宣言

ESGファイナンス・カーボンニュートラルへの挑戦

1970年代
琵琶湖保全
県民活動

1999年
環境方針
制定

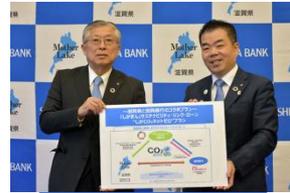
2005年
しがぎん
琵琶湖原則
制定

2007年
カーボンニュートラル
ローン「未来よし」
取り扱い開始

2008年
エコファースト
企業認定

2010年
生物多様性
方針の制定

環境経営の取り組み



1. 脱炭素経営について

2. 滋賀銀行の支援メニュー

2-1 未来よしサポート

2-2 脱炭素経営サポート

2-3 専門事業者連携

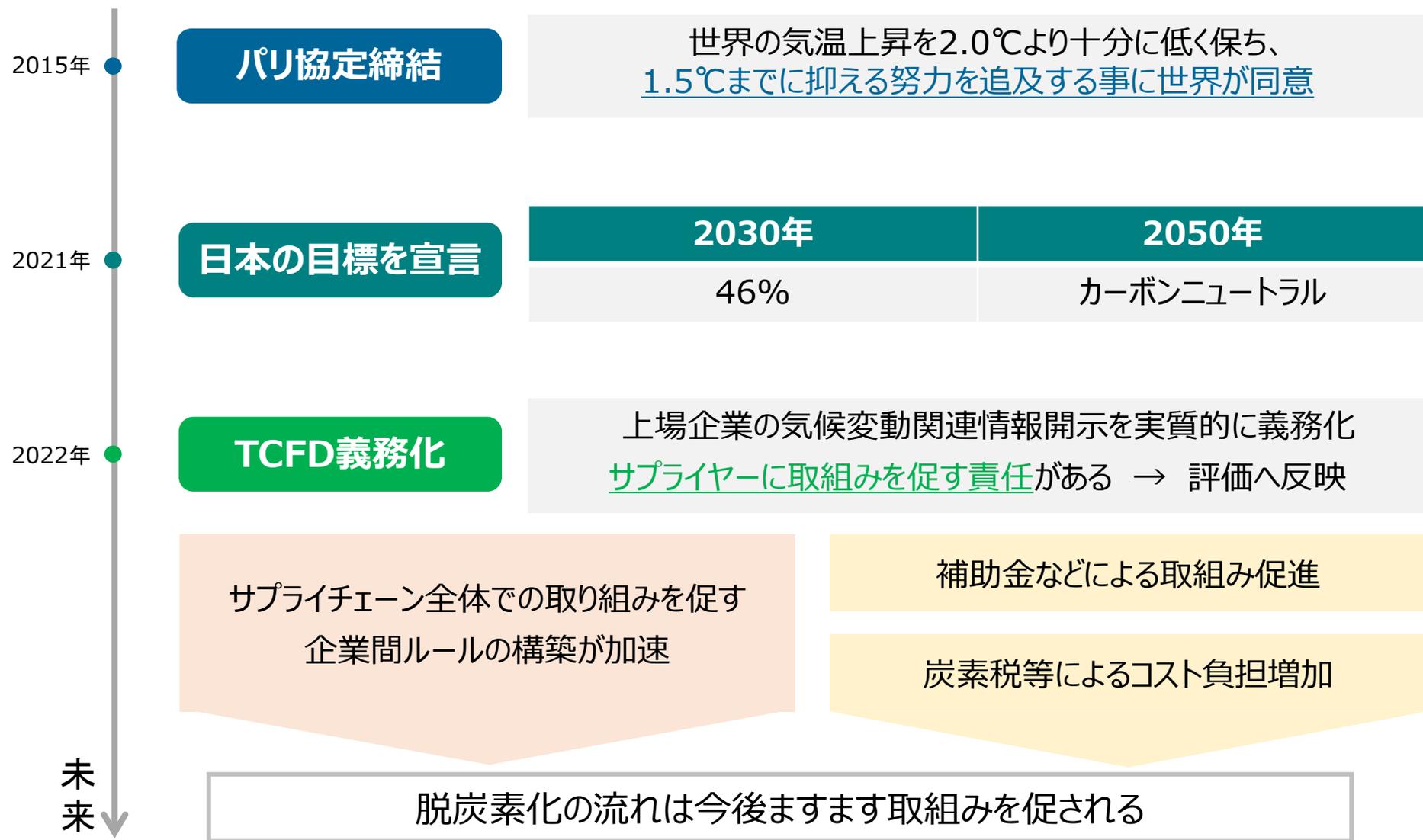
1. 脱炭素経営について

2. 滋賀銀行の支援メニュー

2-1 未来よしサポート

2-2 脱炭素経営サポート

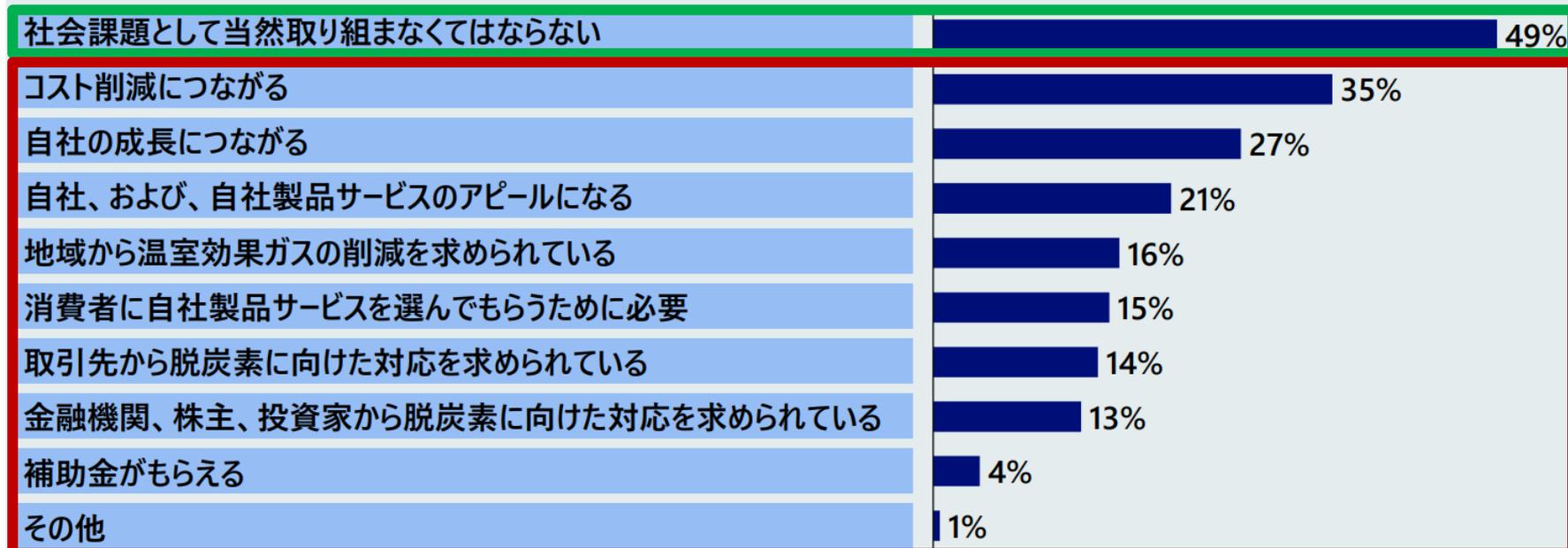
2-3 専門事業者連携



脱炭素への取組みを進めている中小企業の認識

既に取り組みを始めている中小企業の理由の多くは、
「社会課題として当然取り組まなくてはならない」という認識によるもの

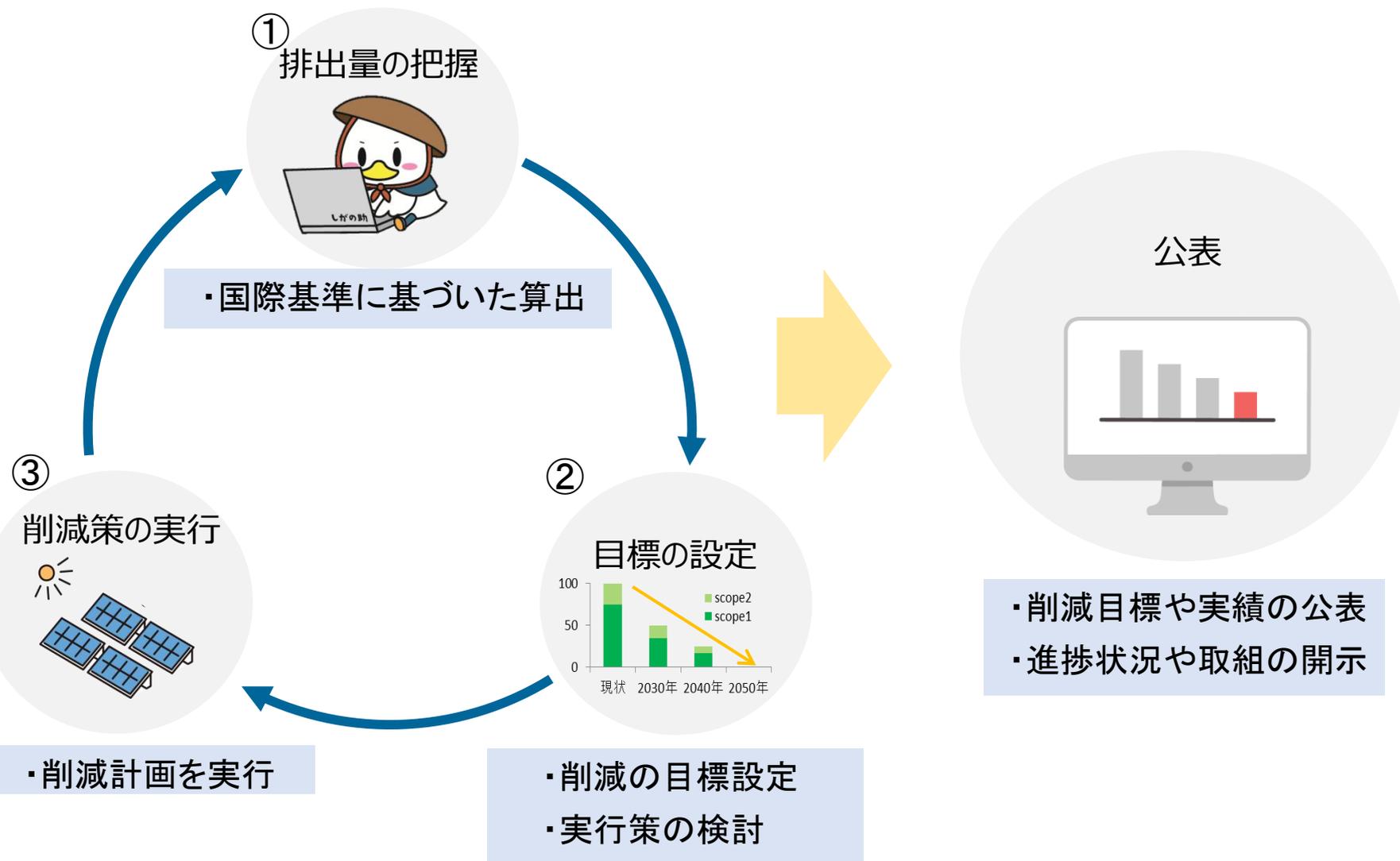
中小企業が温室効果ガス削減に取り組む理由



出典) 野村総合研究所「カーボンニュートラルに関するアンケート調査」(2021年11月)

脱炭素経営の取組に具体的な目的がある

事業の脱炭素化ステップ



1. 脱炭素経営について

2. 滋賀銀行の支援メニュー

2-1 未来よしサポート

2-2 脱炭素経営サポート

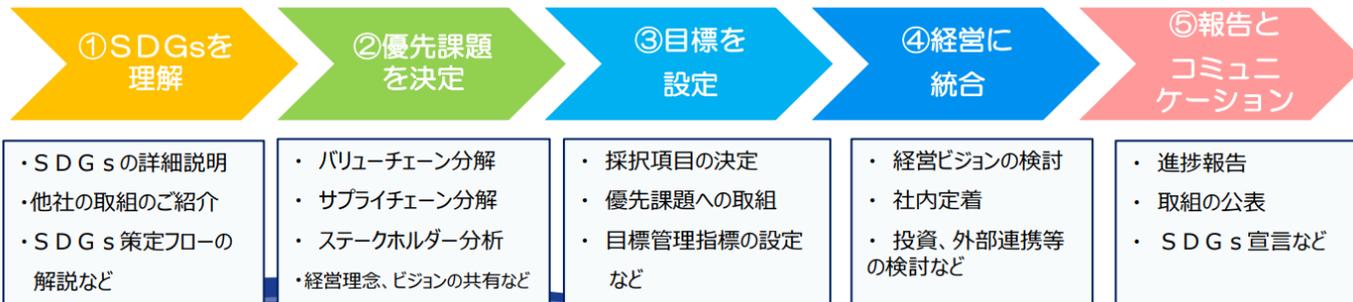
2-3 専門事業者連携

滋賀銀行の支援メニュー

SDGsを活用した持続可能な経営を支援 SDGsコンサルティング



「SDGsを経営に取り入れるサポートをしてほしい」というご要望にお応えするため、コンサルティングメニューの一つとして積極的に実施しています。お取引先とともに環境・社会との好循環を生み出し、持続可能な地域経済を目指します。



2019年6月開始から
172件ご成約
※2023年8月末時点

ポジティブ・インパクト・ファイナンス 5件
グリーンボンド グリーンローン ソーシャルローン 14件
サステナビリティ・リンク・ローン 25件
「しがぎん」サステナブル評価型融資 29件
※2023年7月末時点

サステナブルファイナンス

「しがぎん」サステナブル評価融資

SDGsやESG、企業価値向上の観点から有意義な取り組みを幅広く評価し、サステナブルな経営につなげていただくための融資商品を取り扱っています。

ポジティブ・インパクト・ファイナンス

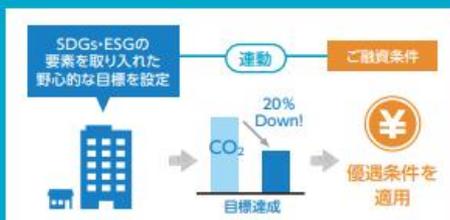
企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクトを包括的に分析・評価し、特定されたポジティブインパクトの拡大と、ネガティブインパクトの低減に向けた取り組みをサポートする融資商品です。SDGsへの貢献度合いなど、事業活動におけるポジティブな意図やコミットメントを可視化することで企業価値・競争力を向上させるとともに、環境や社会のサステナビリティにつなげます。



グリーンローン/ボンド ソーシャルローン/ボンド

グリーンローン/ボンドは、資金用途を国内外のグリーンプロジェクトに限定する投融資。また、ソーシャルローン/ボンドは、国内外のソーシャルプロジェクトに資金用途を限定する投融資です。いずれも環境や社会のサステナビリティにつなげることを目的に利用されます。

「しがぎん」サステナビリティ・リンク・ローン



お客さまがあらかじめ設定されたSDGsやESGに関連する“野心的な”挑戦目標を達成された場合に金利等の融資条件を優遇。お客さまのサステナビリティ経営をサポートし、企業価値向上と持続可能な社会の実現を同時に目指します。

「しがぎん」サステナビリティ・リンク・ローン “しがCO2ネットゼロ”プラン



脱炭素に向けた取り組みを地域に広げ、滋賀県のCO2排出実質ゼロの実現と、ご利用企業さまの企業価値向上を同時に目指す融資商品です。“野心的な”CO2削減目標を滋賀県と当行に提出いただき、達成時には優遇条件を適用します。

Point! 中小・中堅企業でも使いやすいESGファイナンス商品を提供
・県とも連携した活動でムーブメントを起こす!

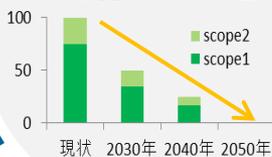
事業の脱炭素化ステップ

① 排出量の把握



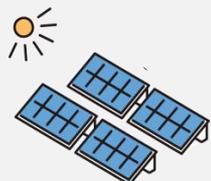
・国際基準に基づいた算出

② 目標の設定



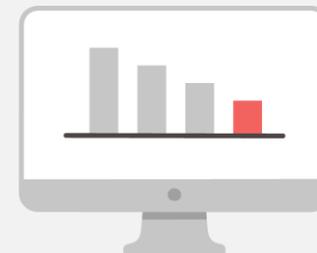
・削減の目標設定
・実行策の検討

③ 削減策の実行



・削減計画を実行

公表



・削減目標や実績の公表
・進捗状況や取組の開示

算出ツールによる現状把握から削減目標設定、削減計画実行までを一貫してサポート

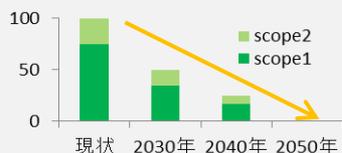
排出量の把握



未来よしサポート

- Excelシート入力で排出量を可視化
- 排出量推移、削減目標達成状況の把握、削減計画の管理が可能
- 月額2,200円（2拠点目からは+550円@拠点）初年度無料
- グラフ・データを外部へ開示可能

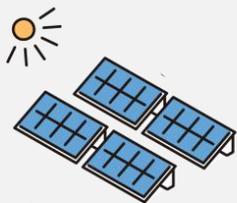
目標の設定



脱炭素経営サポート

- 自社の排出量を算出する範囲、目標設定する際の基準の整理、削減目標の設定や削減計画立案をサポート
- 削減手法の整理や検討

削減策の実行



ビジネスマッチング

- 省エネ・再エネ設備や次世代技術の投資を検討される場合は連携する専門事業者を紹介
- より高度な排出量の算出（Scope3やカーボンフットプリント）も専門事業者を紹介

1. 脱炭素経営について

2. 滋賀銀行の支援メニュー

2-1 未来よしサポート

2-2 脱炭素経営サポート

2-3 専門事業者連携

排出量の算出方法

$$\text{排出量} = \text{活動量} \times \text{排出係数}$$

(単位：トン)

$$\text{活動量} = \text{各エネルギーの使用量}$$

$$\text{排出係数} = \text{エネルギーごとに決められた係数}$$

エネルギーごとに係数の特定が必要

エネルギーごとに排出量の計算が必要

係数は変更されるため情報更新が必要

脱炭素に向けての取組を検討したら・・・



企業担当者

- どうやって算出するかわからない
- 対応できる人員がない
- 忙しくて手が回らない
- システム導入のコストが高い

①地域企業の脱炭素への取組み支援 ～未来よしサポート～

CO₂ 排出量算出・管理サービス

未来よしサポート

事業の運営において、CO₂排出量の把握と削減が求められ始めています。
排出量を算出・管理するクラウドシステムで
みなさまの脱炭素経営をサポートします。



未来よしサポートの特徴

- 1 操作は簡単 Excel ベース**
報告書類などへのデータ活用も簡単
- 2 入力も楽々**
電気・ガスなどの使用量を入力するだけでCO₂排出量を自動算出
- 3 削減努力をグラフで見える化**
目標設定・進捗管理等の機能も搭載
- 4 しらがんがまるごとサポート**
CO₂排出削減計画の策定から手法検討、補助金活用や資金調達に至るまで、トータルでサポート
- 5 利用料はリーズナブル**
月額 2,200円(税込)～
しかも当初一年間無料!

SHIGA BANK

- Point!**
- ・脱炭素の第一歩であるCO₂排出量の算出・管理を安価で提供
 - ・取引先の排出データを分析したうえで次の支援へ展開
 - ・月額2,200円(税込)～

クラウドを活用した脱炭素経営支援ツール「未来よしサポート」

事業活動によるCO₂排出量を算出・管理できるサービス「未来よしサポート」を株式会社日立製作所様と共同開発し、今年1月より取り扱いを開始しました。「自社のCO₂排出量を計測・管理したいが、あまりコストはかけられない」「目標をどう設定すればいいのかわからない」などの事業者の皆さまのお悩みに対し、伴走型で支援します。

本サービスは、中堅・中小企業向けに設計したクラウドサービスで、Excel 帳票[※]を使用し、容易にCO₂排出量を可視化することができます。当行は、削減目標の設定や削減計画の立案、その先の実行やモニタリングまで、脱炭素経営に向けて一貫したサポートを提供します。

※ Microsoft Excel は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

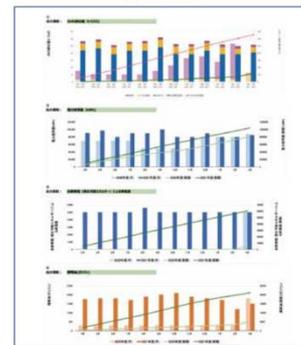
「未来よしサポート」によるサービス提供のイメージ



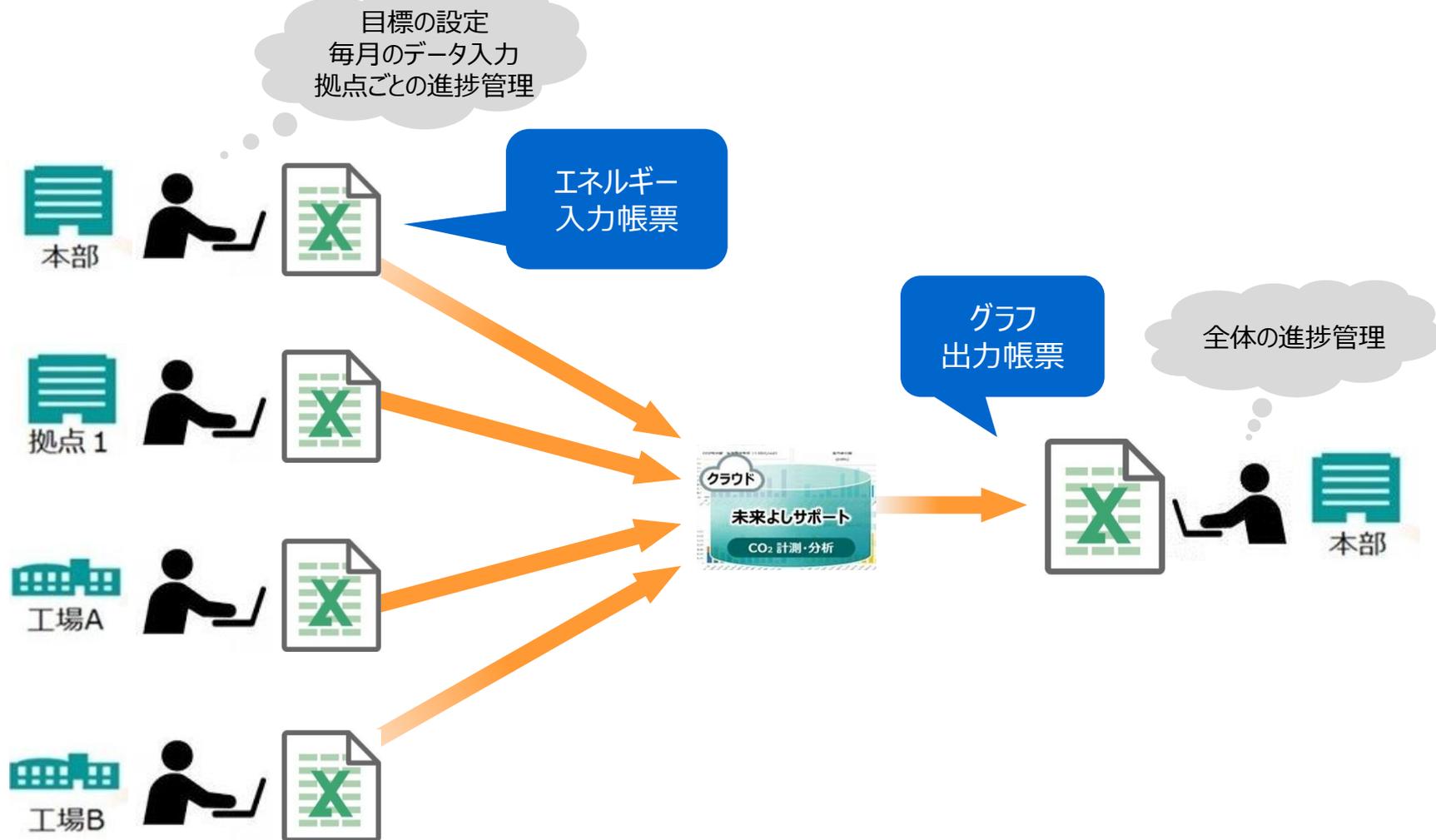
入力シート



管理画面



「エネルギー入力」と「グラフ出力」の 2種類のエクセルシートから構成されています



本資料は、現在弊行が入手し得る資料及び情報に基づいて作成したものです。弊行がその資料及び情報に関する信憑性、正確さを保証するものではありません。本資料において一定の仮定を用いた試算を行っている場合、その試算結果は仮定に基づいた概算であるため、別途専門家へご確認いただく等詳細な検討が必要です。本資料は今回のご提案の参考資料としてのご利用を目的として作成したものであり、他の目的で利用されること、本資料の外部でのご利用もしくは第三者への開示がなされることのないようお願い申し上げます。

Copyright© SHIGA BANK, Ltd. All Right Reserved.

クラウドサービスの利用で実現可能なこと (すべての機能を拠点毎に管理できます)

エネルギー 入力帳票	排出量 算出	スコープ1・2	<ul style="list-style-type: none"> ● 月別にエネルギー使用量を入力すると、各種エネルギー・電力会社別の排出係数をもとに自動算出 ● 過去の排出係数も完備。基準年や過去データを管理可能 ● 同シート内で非エネルギー起源二酸化炭素のデータを管理可能 ※現時点では日本国内・マーケット基準の係数を扱っており、海外国の排出係数は自動算出されません。
		スコープ3	<ul style="list-style-type: none"> ● カテゴリーごとに排出量の入力が可能 ※現時点ではスコープ3各カテゴリーの活動量・係数による算出機能は付帯しておりません。
	原単位排出量算出	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上高、床面積、従業員数あたりの排出量が算出可能 	
	目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴール年と削減率を決め、年度・施策分類別の目標設定可能 	
グラフ 出力帳票	グラフによる可視化	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー使用量から算出した排出量データを可視化 エネルギー別にグラフ化され、分析や報告書へのデータ転用が可能 	

1. 脱炭素経営について

2. 滋賀銀行の支援メニュー

2-1 未来よしサポート

2-2 脱炭素経営サポート

2-3 専門事業者連携

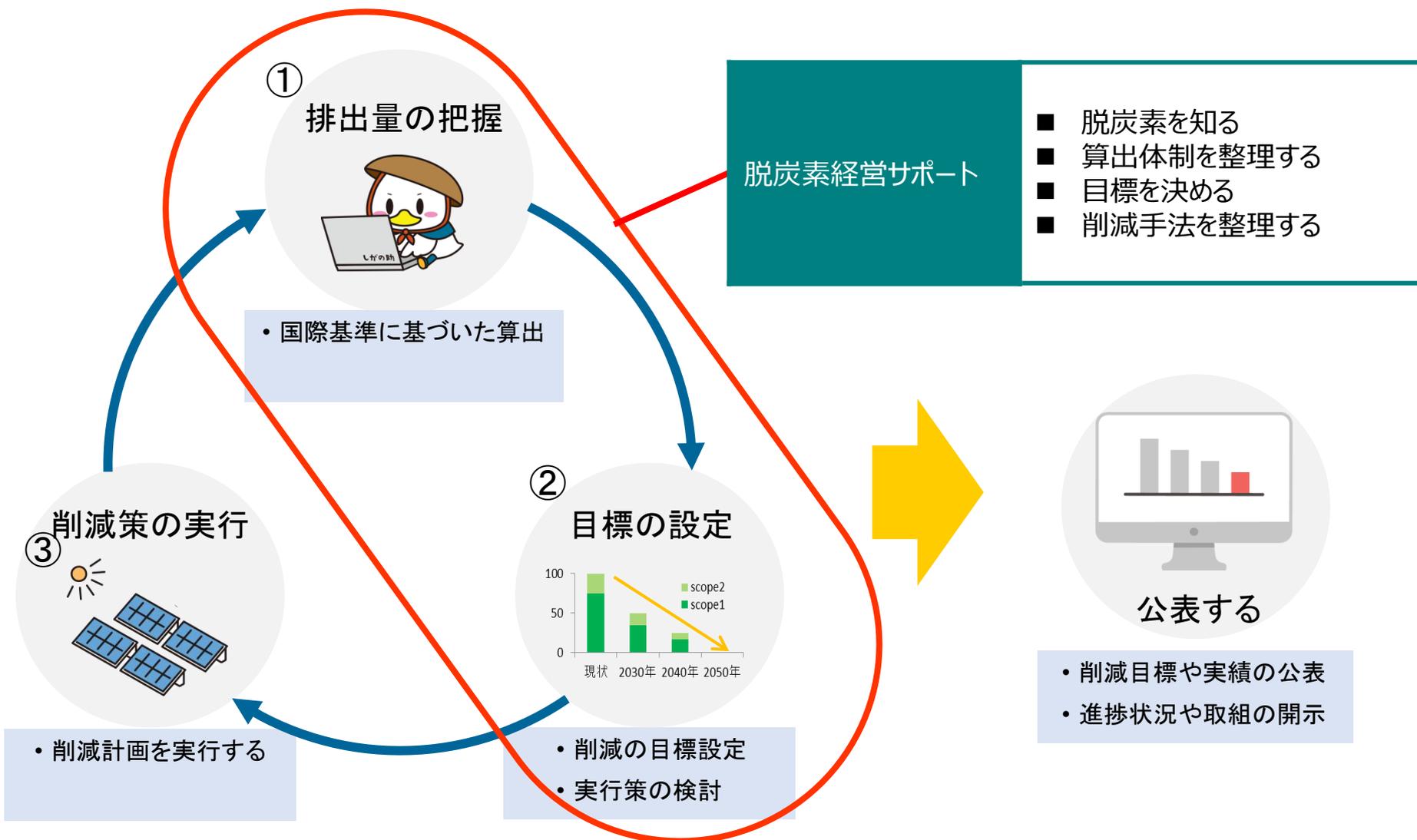
排出量算出システムを導入しただけでは・・・



企業担当者

- ルールに則った算出の仕方が分からない
- 確かな数値を公表したい
- どこまで対象としたらいいか分からない
- 入力スキームや削減施策を検討できる体制を整備しておきたい
- 目標の基準が分からない

排出量算出と削減に取り組む社内体制（サイクル）構築



自社（Scope1.2）のCO2排出量の算出体制、管理体制の構築目標設定を支援いたします。

第1回

排出量算出の準備

- ✓ 脱炭素について知る
- ✓ 目的の明確化、共有
- ✓ 算出範囲の特定・確認
- ✓ 算出・管理体制の整理

第2回

目標の検討

- ✓ 周辺状況の整理
- ✓ 基準年度の設定
- ✓ 削減目標の決定
- ✓ 取組深度の確認

第3回

今後の削減に向けて

- ✓ 削減手法の整理
- ✓ 補助金活用等の検討
- ✓ 優先順位の検討

第4回

目標決定・報告会

- ✓ 目標の決定
- ✓ 算出・管理体制の確認



ご要望に応じて**中小企業版SBT**の申請も追加でご支援いたします

1. 脱炭素経営について

2. 滋賀銀行の支援メニュー

2-1 未来よしサポート

2-2 脱炭素経営サポート

2-3 専門事業者連携

脱炭素を含む様々な経営課題の解決に向けて
滋賀銀行をご活用ください

本日はご清聴ありがとうございました